



とよおか

第 26 号

平成17年1月31日

議会だより

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/ユニプリント株



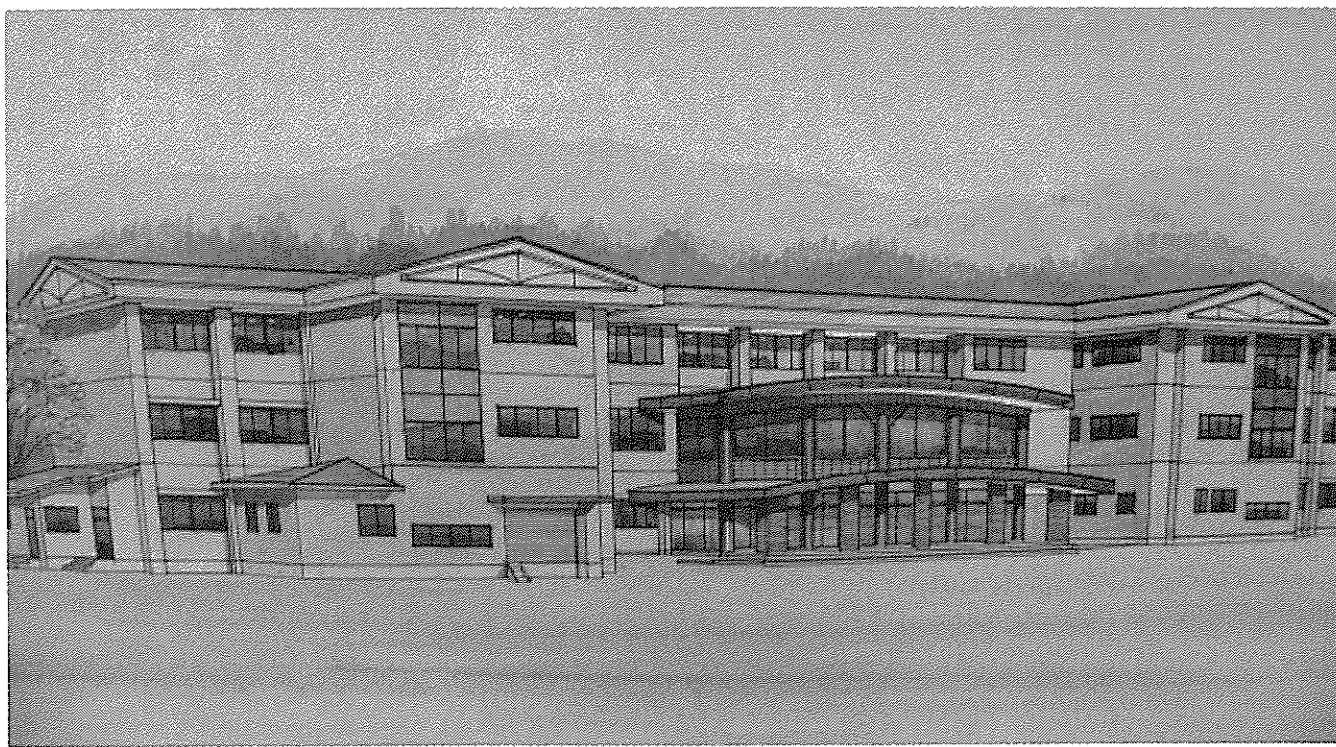
堀越 武田さん宅南天

12月定例会

12月定例会のようす・陳情請願	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
一般質問のようす	6～12
委員会だより	12～13
「私の一言」、私がんばっています、編集後記	14



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています



中学校完成予想図

第4回定例会

長沢中央線拡幅に3100万円

一般会計352,165千円の追加補正

平成十六年第四回定例会が、十二月七日から二十四日までの十八日間の会期で、条例の改正一件、十六年度一般会計ほか特別会計五件の補正予算、陳情、請願五件などを審議し、議員提案により「地方交付税制度の堅持と総額確保に関する意見書」を提出した。

一般会計

十六年度一般会計補正予算は三億五千二百六十五万五千円を追加して総額を三十六億六千五百九十四万九千円とするもので主なものは次の通りである。

○低公害車の導入

今まで村長車として使われて来た大型乗用車とライトバン二台を廃車して低公害車一台を導入する費用として、二百八十四万七千円を計上した。なお低公害車導入補助金として国より二十一万円の国庫補助があるとの事であり、低公害車は二台目の導入である。

○街路灯による稲作被害

このことは竜東一環道路の街路灯九十本の中で二十七本による稲作に与えた被害を補償するもので、設置当初メーカーの説明では二メートル位の範囲で若干の光線による影響が発生する可能性がありうるとの説明があったが、特段の措置をすることなく設置したものである。

被害は伴野十本、林四本、田村三本、河野十本の計二十七本に被害が発生した。メーカーの責任で二十七本の街路灯には遮光フードを設置し賠償金の五十%、十万円を負担するとのことである。

○ホームステイ七名減で百五万円の減額

派遣研修事業として毎年行なわれてきたホームステイは当初二十名を予算化したのが、十三名の参加に留まったための減額で次年度に向け検討していきたいとの説明あり。

○民生費

老人福祉費の中で扶助費としての百万円は寝たきり老人等住宅整備事業で、当初三戸の予定が六戸に増えたもの。繰出金として、老人保健医療特別会計に四百二十二万九千円、介護保険特別会計に四百二十八万七千円を繰り出すものである。

老人居宅支援事業費の負担金及び交付金七百五十万円は、旧法務局の建物を改修して有限会社「介護のしおや」が宅幼老所

を開設する補助金として、県が五百万円、村が二百五十万円を補助するもので十二月一日に県の内示があり十六年度中に開設を予定しているとのことである。

保育所費の賃金百六十三万二千円は、中央保育園で園児二十名が二十五名に増えたため臨時保育士一名分の賃金である。

○電化製品収集処分に九十万円の増額

清掃費の委託料として粗大ゴミ収集処分に四十万円、電化製品収集処分に九十万円、埋立てゴミ、廃プラ類収集処分に六十万円の増額。有料化へ移行する最後の収集で大量に出されたための増額となった。

一方鉄くず処分については鉄の価格が上ったため八十四万円の減額補正となった。下水道費の繰出金四百四十七万円の減額補正は、特環下水道事業補助金が増額されたことにより、下水道特別会計繰出金を減額するものである。

○坂島の遊歩道に七十万円

雇用対策として全額県費で、坂島から野田ノ平キャンプ場までの旧道を支障木刈払いなどにより遊歩道を整備するものである。

○商工総務費に三百五十三万円の増額補正

県信用保証協会保証料補給金として補正するもので十一月末での利用状況は三十九件で、内訳は建設業十六件、小売業四件、製造業十件、サービス業九件となっており不況の影響が反映しているものと思われる。

○長沢中央線改良に三千百万円

道路新設改良費として補正するもので、長沢会所から長沢線までを拡幅改良工事関連で補償金五十万円と合せて三千百万円で、辺地債三千万円、地元負担金百万円で改良するものである。

○教育費

南小学校管理費では当初トイレ、屋根、外壁など大規模改修を予定していたが、有利な補助金が見つからなかったため設計委託料を百八十九千円を減額補正し、来年度新入学児の車椅子対応のため、トイレ、段差解消等の環境整備に百万円の補正を行なうものである。

中学校管理費の委託料千二百十萬円の減額補正は中学校改築設計委託料として計上してあったが基本設計のみとしたための契約差金一千万円と、パソコンを移動した工事の契約差金二十万円である。又、仮設校舎リース料の契約差金四百万円の減額補正も行なった。公民館費として百万円の減額

補正は、図書館システム整備委託料の減額補正である。借出しカードも当初千六十名の登録が千二百名となり一日平均六十名の利用者があり、二名の職員が対応し、順調に推移しているとのことである。

○災害復旧費

耕地災害復旧は、北ノ井、木門井に千七十万円。林業施設災害には大島線、間沢線に三百三十万円、公共土木施設災害は赤沼線千五百万円。村単独災害復旧には下ツ沢他五ヶ所分三百万円の補正を行なった。

歳入

村税の個人税は六百五十万円の減額であり法人税は六百五十万円の増額で特殊な原因となっている。固定資産税は土地が三百二十万円、家屋が三百十萬円の増で、償却資産税が七十万円の減で差し引き五百六十万円の増となった。又、軽自動車税も六十万円の増額となった。

◇国民健康保険特別会計

退職被保険者療養給付費に二千万円、退職被保険者高額療養費に三百三十万円で被保険者が十六年度は四十名増の四百十名となっており大幅な増加に対応するための補正である。

陳情・請願

- ◇誰もが安心して利用できる介護保険制度への改善を求める陳情 — 一部修正採択
- ◇安全、安心の医療制度の確立を求める陳情 — 継続審査

- ◇「人権侵害救済法」の早期制定を求める陳情 — 継続審査
- ◇政府米の買入れと、備蓄を充実させる意見書提出を求める陳情 — 採択
- ◇WTO、FTA交渉に関する請願 — 継続審査
- ◇「食料、農業、農村基本計画」見直しに関する請願 — 継続審査

【意見書】

- 誰もが安心して利用できる介護保険制度への改善を求める意見書 — 可決
- 政府米の買入れと、備蓄を充実させる意見書 — 可決
- 地方交付税制度の堅持と総額確保に関する意見書 — 可決

杜には二十名が入所しているとのことである。

◇簡易水道特別会計

維持補修工事請負費五十二万五千円。中学校教員住宅水道独立工事等に三十一万五千円の増額補正。

◇下水道事業特別会計

測量設計監督委託料千二百萬円の減額。施設整備工事請負費六百万円の増額補正又、消費税分として三百三十七万一千円の補正も行なった。

ついて議論が集中

街路灯による 稲作被害の影響は？

伊藤課長 当初はメーカーから影響なしという話があり進めてきた。実際は圃場、米の種類によりまちまちの状況で減収がある。今後は、街路灯に遮光の器具をつけて防いでいく。被害が発生したのは、伴野十本、林四本、田村三本、河野十本の計二十七本である。メーカーの責任で遮光板の材料費と取り付けは、負担すると提案があった。

丸岡議員 業者の責任はどうか、この補償はあくまで今年のみという事か。

伊藤課長 年によって被害の大きさが違う。補償の対象は、今年だけを考えている。

村長 補償額も五十%はメーカーの方でみたいとの話があった。

丸岡議員 補償の五十%は妥当か判断は難しい。今は他の作物を作っているが、米に変える人が出て被害が出る場合もある。その時の為にも遮光板を無償で

予算特別委員会における平成十六年度補正予算の審議の中で職員手当、勤勉手当等の増額補正が随所に計上されているとの指摘があった。これは当初予算計上時の積算誤り等による補正である。このような初歩的な間違いがないよう緊張感をもって対処してほしいとの意見があった。主な質疑は次の通りである。

もらい確保しておく方がよい。

下平豊久議員 よく調査してみると設置時期に影響が出る事も予想されたと思う。十分事前に検討してもらいたい。今後発生する問題についても、文書の取り交しなどで、きちんと要求する事を入れて対処してほしい。

十三名で終わった 派遣研修事業

北澤議員 中学生のホームステイは、補助率が下がったため行く人が少なくなったのか。見直しの時期にきているのか。

伊藤課長 年によりばらつきがある。高校生は自分の意思で参加してくるが、中学生は学校全体のムードや友達がいけば私も行きたいという傾向もあるように思う。調査の中では存続を願う意見もあるが様々である。

北澤議員 それは家族の意見という事であるが、中学生は特に思う事はないのか。

旧法務局の 後利用として宅老所 が開設される

丸岡議員 宅老所の補助金については県の補助金交付要綱上村の補助も義務づけられたものか、村が補助金を出すについて交付要綱というものがあるか。

福沢課長 村が三分の一負担するというのは県の要綱の中にある。一般的な村で作っている交付要綱に基づいて出す予定で、特別にこれだけに作る予定はない。

片桐秀議員 これは市町村が開設して委託するものか。

唐澤議員 市町村が作って直営

地域づくり委員会と 行革委員会の予算の 目的外使用は 不適切である

丸岡議員 一般質問の中で明らかにした予算の流用という目的外使用はどのように処理、検討されたか。

村長 地域づくり検討委員会は六月の補正でお願いした。合併問題がこういう形になったので行政改革、評価が必要な時期ではないかと立ち上げ、丁度予算計上してあった費用をあてればいいという思いであった。皆さんの考えも分かった。この予算の執行については後日相談させて頂きたい。



決算特別委員会の質疑から

予算の目的外使用に

南小学校の 管理費について

下平議員 南小学校管理費の委託料について。

森田課長 トイレ、屋根外壁等の改修を予定し有利な補助金等があったら取り組む予定。これを取りやめて耐震耐力度調査を実施し根本的な対応する。

工事請負費について

下平(豊)議員 工事請負費は、どのようなものか。

森田課長 車椅子使用の来入見の受入に対応する為、トイレ段差解消等の環境整備を実施する。

簡易水道について

片桐(秀)議員 試掘の井戸を調査しているが現在のようになっているか分る範囲で。

森田課長 現在五箇所試掘している。北村・南市場は完成している。

小園・北小学校はまだ仕上がっていない。役場の所は、掘ったがだめであったので機械をかけて掘りなおす。

川野議員 北村の水質はどの位だったか。

森田課長 数値は割と高かった。

下水道について

川野議員 北村は水質が良いと言ったのだが。

森田課長 あまり良くなかった。一年かけて、水質検査、申請をする。十七年度には、出来ないと思う。

筒井議員 北小学校の所はどうだったのか。

森田課長 あそこはだめだったので川原を試掘してみる。

中学校の 仮設校舎について

筒井議員 基礎工事は進んでいるか。グラウンドの中へ、テニスコートを二面作ってもらえるか。野球部も皆が使えるように。その結論はでたのか。来年度使えるようになってくるのか。

森田教育長 まだ不確定要素がある。

工事用の駐車場や工事の人達のスペースをどのようにとるか、まだ一〇〇%かたまっていない。ゆずりあつていければ。

菅沼議員 教育長が言われた年度の繰上げがどうなっているか。

松下事務局長 国の方から、新潟中越地震がおきとくに学校へも被害があり、国の補正予算で、その中へ強化地区になっていて危険校舎を合せていれていくとの事。

来年度予定している市町村



中学校仮設校舎建設現場

もんつもしんばん

【質】地震など自然災害への対策は 【答】東海地震防災計画の浸透から

菅 沼 明 人

新潟県中越地震は、十月二十三日に発生し、死者四十名、重軽傷者二千九百九十一人があり、公共建物被害は別で住宅家屋被害は十万六千七百六十四棟となっており、約六千人の避難者がテントや車の中など避難所で暮らしております。

地震の恐ろしさは実感がない面もあるかと思いますが、新潟県中越、インドネシア、スマトラ島沖地震等、言葉は失うほどの惨状で天災に人間の営みが危険と隣り合わせであるかを感じ知らされました。そこで村長に次の質問をします。

質問 非常用食糧や生活必需品等の備蓄について豊丘村の現状をお答え下さい。

村長 乾パンが二百食、アルファ米が百食の計三百食、其他毛布とかブルーシート、飲料水の袋、医薬品を備えております。質問 避難場所の確保と整備状況はどうなっているか。

村長 二十ヶ所の一時避難地と二十一ヶ所の避難所が記されていますが見直し、明解にしていきたいと思っております。



被災者への炊き出しを作る、自衛隊。小千谷市

質問 防災意識の高揚をどう図るか。
村長 九月一日の防災の日を銘打ち、また十月には職場の訓練常々の訓練、広報によって防災意識の高揚を図る計画です。
質問 水道の断水やトイレが使用不可の時どう対応するか。
村長 清水、湧水、個人の井戸などもお願いする、仮設トイレの設置や、国よりの貸付仮設トイレの利用等対応する。災害全般で孤立人命救助などは県の防災ヘリ等で輸送を検討中です。

【質】職員の意識改革の取り組みについて 【答】ネームプレートで責任を明確に

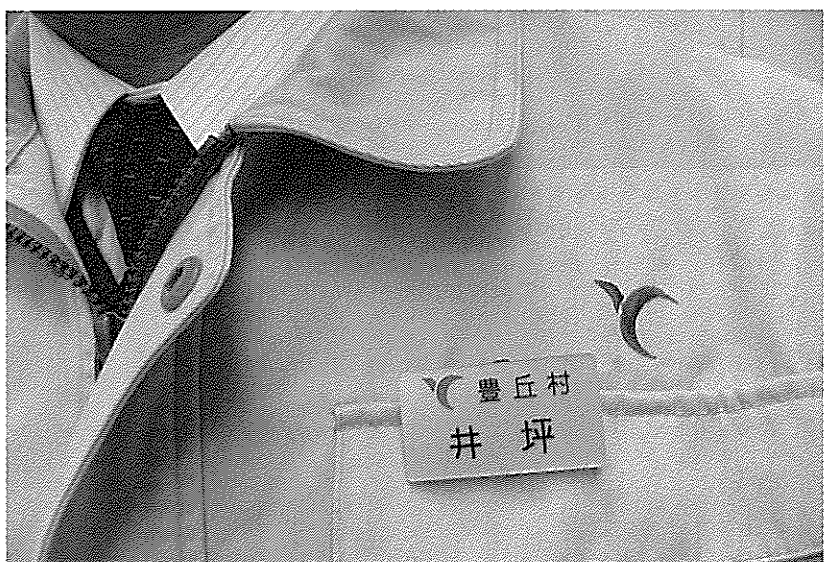
川 野 孝 子

質問 職員全員に、所属、氏名がはっきりわかる様なネームプレートの着用を希望する。村民に対しても対応と責任感が違ってくると思うからである。

村長 現在着用しているのは、確かに小さく見えにくい。再度内部で研究を深めたい。
質問 十月ごろから隣組長の所への文書配布の一部を職員が行っているが、職員にとっても地域の状況が自分の目で見る事の出来る有意義な取り組みと考えるが具体的にどの様に配布しているのか。

村長 主に下段から中段を中心に今まで文書配達職員が配っていた地域を配るようになっている。経費節減とその日に用意された文書は極力その日の内にとり組んでいる。

又、地域に向いた時には村民に元気に明るくあいさつが出来るといふのも目的である。
要望 山間地への配布もぜひ取り組みをしてほしい。
（主要産業の果樹の台風等による被害の対策について）
質問 りんご晩生種ふじについて



現在のネームプレート

て異常気象による品質低下に加え台風災害により例年の半作ではないかと言われているが実態調査と対策について具体的取り組みはどの様なものか。
村長 はっきりとした状況はまだ把握していない。果樹共済についてもなかなか補償の対象にな

追跡! No.1 旧法務局はどう生かされるか

旧法務局の後利用については、指定介護保険事業者である喬木村の「介護のしおや」が宅老所として改修し活用することとなり、改修工事費に対する補助金七百五十万円（うち県補助金五百万円）が十二月の補正予算において議決されました。
計画されている宅老所は、主に痴呆性高齢者に対する在宅生活支援のための通所介護（デイサービス）施設です。定員は一〇名で、家庭的な雰囲気のものできめ細かな個別ケアが提供されます。また利用者を中心に高齢者の緊急時の一時宿泊にも対応する予定です。
「介護のしおや」は、現在阿島地区に宅老所を開設しており、豊丘村からも六名程度通所や宿泊をしております。定員一杯の利用が続き、新規申込に対応できないため、豊丘村へも宅老所を開設するよう計画されたものです。宅老所整備については様々な意見がありましたが、「介護のしおや」の現在の運営状況や、今後の必要性を検討した結果、県の補助事業を活用して改修する運びとなりました。
現在四月より開所する予定で、改修工事の準備が行われている様子です。
今後も痴呆性高齢者の増加は予想されます。利用者の皆さんの痴呆症状の進行が防がれ、通所による家族介護者の気分転換も図られて、在宅介護の継続に役立つ施設として有効に活用されることを期待します。

追跡! No.2 村内の交通対策はまず路線バスの村営化

村内の交通対策について研究を重ねてきた交通対策研究会から、平成十六年八月に「スクールバス、乗合交通システム及び福祉タクシーの併用とする」ことがふさわしいという答申が出された。
乗合交通システムとは、事前予約によりタクシーを乗合で利用するもので、運行時間やエリアに若干の制約はあるものの、路線バスと違って戸口から戸口までの運行が可能となるものである。柱となる公共交通手段として乗合交通システムを導入し、障害などで乗合交通システムの利用が困難な人は福祉タクシーを利用し、スクールバスは車両の小型化などにより効率的な運行をするというのが答申の趣旨である。
既存の路線バスを運行している信南交通もこの答申について理解を示し、堀越・佐原・福島3路線について村営バスの運行委託方式にすることや、市田線と競合する路線の運行が容認された。
村内3つのバス路線を村営化すればかなりの経費削減が見込まれるほか、長沢地区まで路線を延長できる可能性もあるため、平成十七年四月から村営のマイクローバスで運行するよう計画が進められている。
一方、乗合交通システムについては具体的な計画が進んでいない。平成十七年度に試行実験を行うことも提案されたが、先進地の事例も参考に、豊丘村にあった方法をしっかりと検討してもらいたい。

質 合併問題、その説明の責任は
答 直接的意見は通常の村政懇談会で

松村 正三

質問 村の現在、そして今後どうなるのか、どうするのかと
いったところが、今、村民から
すれば、見えない状況にあると
思う。

合併問題に取り組んで来た中
村長の責任において、村民に面
と向いその後の経過説明や今後
への考え方をはつきりと示して
いく必要性は大いにあると思
う。一つの問題の区切り区切り
でその説明責任を果たし、村民
をしつかりと導いていくことが
必要と思うが。

村長 今までも公民館報、ある
いは広報へは、その後の経過に
ついて私の考え方を述べてお
るわけで、村民それぞれがマス
コミ等で承知かと思う。又、一
月予定の通常の村政懇談会など
の際に村民の直接的な意見を承
つていきたいと思っている。

質問 厳しい財政運営を余儀な
くされている今、村としても大
幅な歳出削減を行なっていくか
ばならないとき、思い切った行
財政改革が行われる必要がある
と考える。村長の行財政改革に
対する考え方と信念や覚悟と

いったものを来年度以降、どの
ように予算などに反映させてい
かれるのか。
村長 腹を据えて取りかかって
おるつもりであり、実施計画、
三年間にわたるその見直しも
やっている。ほぼその考え方も
固って来たところであり、行政
の合理化というようなことは、
内部を先頭に取り組んで行きた
いと思ってい
るし、さら
に、さらに
詰めて新年
度予算、当
面する三年
間の事業に
反映するべ
く相談をし
てまいりたい
と思ってい
る。



質 「合併待機」は村づくりの議論を阻害
答 対話で理解を深め合いたい

丸岡 茂

質問 高森町
から合併協議
のお断りが
あつて以降、
更に合併の模
索をするとし
てこれを撤回
されなかった
のは残念。近
隣町村の状況
はもとより、
議会、役場
村内にもこれ
を支持する声
はなかった。
こたわつたの
はなぜか。

村長 合併に
より効率化を
はかり、意識
改革や互いの
良いものを引
き出すことが
必要。理想、
目標に向かっ
て信念、希望
理念は続けて
いきたいと念
頭に置いてい
る。

質問 村長の働
きかけに対し、
反応はどうだ
たのか。近隣町
村はいずれも自
立の道を歩き始
めている。自ら
は合併を志向し
ながらも、住民
投票の結果を重
く受け止め転換
された首長もい
る。今、そこへ
「合併が必要。
もう一度考えま
せんか」は、信頼
関係に傷をつ
けたと思う。近
隣町村とは、今
後ますます連携
が必要。これか
らどうするのか。

村長 ブロック理事者会の席上
合併の必要性を訴えたが、誰か
らも発言はなかつた。共同で
できる事務事業について、今
以上に連携していこうと協議
された。今後ますます友好を深
めていきたい。

質問 現在の村長のスタンスは
合併待機を感じだが、これは住
民に理解しにくく、村づくりに
ついての議論が沸きにくい。
村長 皆さんと対話をして、そ
の過程で理解を深め合いたい。
要望 村長は、更なる合併模
索とともに「十月を、これからの
豊丘村を集中的に考える月間と
する」と言われた。いずれも重
大なのに、それに合わせた動き
や議論は役場内でさえ何も行わ
れていない。物事は住民、議会
役場、その総合力で推進する
ところに成果が出るものと思
う。



質 子育て支援について

答 大型事業控えている

前沢 光昭

質問 子育て支援は村長の公約
であり、信念と公言し私もそ
うだと見ていた。子どもの医療費
については豊丘では当初いち早
く小学校3年生まで無料とした
が、最近では近隣では小学校6
年まであるいは中学卒業までと
なっている。村長の子育て支援

に対する考えは。豊丘でもさら
に年齢上げられないか。
村長 3年生までは病気もする
しちようどそれくらいいいと
思っている。6年生まで上げた
場合の試算するとさらに二百万
必要。次年度以降中学校舎建設、
黒谷線改良など大型事業でお金
かかるので出来
ない。
質問 財政を理
由とするなら十
五年度決算では
充分にやって
いけるはず。
村長 振替財
源でやること
は出来ない。

今後の村づくりについて

質問 村長が自
立表明するか、
合併を言い続け
るかは今後の村
づくりにおいて
重要、財政難で
何も出来ない
というなら、第四
次総合計画見直
しなどあるのか

質問 遊休農
地、住宅対策、
交通対策等の
諮問委員会の
答申を得てい
るが、この答
申を尊重する
つもりである
か。
村長 委員の
皆さんには忙
しいところを
協力頂いた。
質問 答申で
定住促進のた
め公営住宅の
整備土地開発
公社による宅
地分譲が上げ
られている
が。
村長 主導は
地域でお願い
し、手続き資
金等は協力し
て行き、納税
者をおやした
い。

質 福祉タクシーにかわる新交通システムは
答 取り組むと明言する段階ではない

片桐 秀人

質問 私も交通
対策の委員とし
て新交通システ
ムとしてデマン
ド交通システム
(注文での乗合
せタクシー)を
取入れ中学生、
高校生も含めた、生活スタイル
に合った村民誰もが利用でき
るシステム導入を答申している
が。
村長 生徒数が減っているの
でマイクロボスを購入して節約
したい。デマンド方式は夏こそ
行期間を設けて利用状況を見
たい。
質問 福祉タクシーの費用節約
は当然研究しなければなら
ない。



課題であるが、マイクロボ
は各戸へは入れず試行期間で
利用者がなかつたからと言
って福祉タクシーにかわるデ
マンド方式をなし崩しにやめ
られては交通弱者が困る。交
通対策は長く安定したもの
が必要だ。もっとデマンド
方式を勉強すべきだ。自分
の足や自転車。デマンドの
取組みは明言する段階には
ない。

質 発達障害の現状、とりくみについて

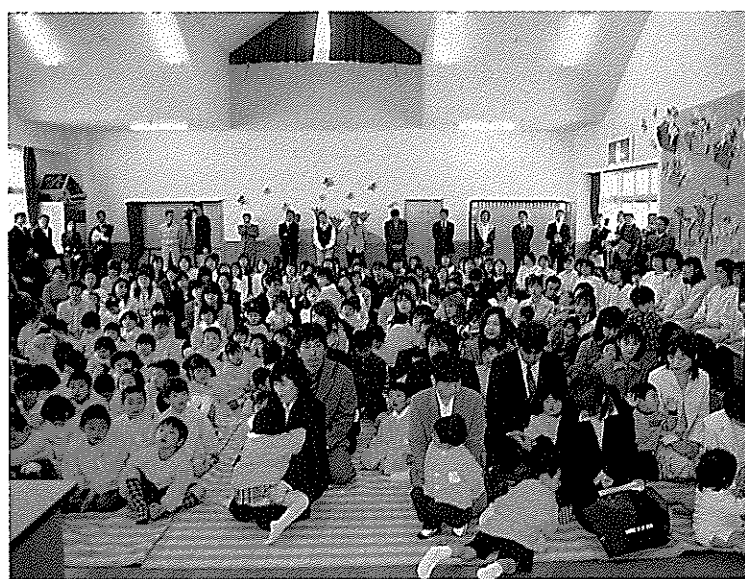
答 積極的に進めている

片桐 眞理子

質問 学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(AD/HD)という言葉を最近よく耳にする。これは生まれ持った脳機能の発達障害で人口の5%以上とされる頻度の高い障害である。周囲の無理解や偏見が障害を重くさせ二次的障害といわれる不登校ひきこもりの原因になる事もあるといわれている。

村長 進んで参加できる様なひとつの課題を提供するのでも大事と思う。忙がしい為、お願いが容易な事もあると思う。

早期発見、早期支援で適切な訓練をうける事で、学習能力も向上し社会生活の適応も高まるという。現在、取りくみについて伺いたい。



質 さわやか行政サービス

答 職員に指導してない

松井 尚子

質問 さわやか行政サービス運動に対する村長の取り組みと関連する問題について。さわやか行政サービス運動なるものは村長はどう評価し、またこれに対し村ではどのような取り組みをしているか。

村長 お気づきの点がありましたら村民の皆さんもぜひどんなことでも結構ですから、声を寄せていただいで、感じのよい職場を作り、職員への対応というものに努めていきたい。

質問 職員の対応態度、言葉遣いの改善について職員にどのような指導をしているか。

村長 あまり職員には指導していません。専門家の研修指導等によってそれぞれ一人ひとりが自覚した幹部研修とかその場その場で節目にあつて、そういうことでそれぞれ職員が勉強を深めてそれを実践してほしい。

質問 職員の人事異動について、どのような基準を持って人事異動をするのか。

人が一生その職場としていかにその満足をして仕事に打ち込めるかと対処ができるかということが大切だと思っております。得意な分野だけということではなくてできるだけ多くの職場のをしてそれによって高めてもらう。仕事に対する幅を持ってより良い自治体の職員として。



質 将来に向けての行政のあり方は

答 職員の自覚をまちたい。

下平 喜隆



質問 当分のあいだ豊丘村は自立を行かなければならない。将来的に合併に巻き込まれるだろうが、それまでの間、限られた予算で効率的かつ効果的な施策を立案、施行することが大切だ。それにはいままでの行政のやり方ではあまりに非効率だと考える。今こそ民間の経営感覚をとり入れ、成果主義を導入し、村民主体の行政のあり方を

質問 大変古い官尊民卑の感性

村長のリーダーシップのもとに推し進めることが求められていると思う。

質問 介護保険の改善を



質問 六十才以上の高齢者が入居できる世話人付公営住宅整備事業という制度がある。バリアフリー対策等種々の補助金特例加算もある。検討すべきでは。

質 平成十七年度予算編成について 答 中学校改築等大型事業を推進

筒井 博

質問 平成十七年度は国の予算のきびしい中、大型事業が目白押しと思います。どの様なお考えで予算編成に取り組まれるのか。

村長 確かに大きな事業が予定されておる訳で、既に一部取り掛かっておる事業もある。当初財務省の方針だと大変なことになると思っていたが、ここへ来て地方六団体の圧力等もあり財務省の方向が少し変わって来て本年の予算獲得が出来るのかな、しかし財政的なきびしさには変わりはないと考える。

質問 三位一体改革の一言で国の財政支出を減らし地方の自立をうながすと云うことで新聞等見ても国の政策がころころと変わる感じでこれでは村の予算編成にたずさわる理事者、職員の方々も大変だろうなと議員としても想像している。

村長 来年度は、中学校の改築、水道水の改善、子育て支援、交通問題、黒谷線の改良工事等さまざまな事業が山積しており全力で取り組みたいと考えている。

来年度は、豊丘村として合併五十周年に当り記念事業にも取り組んでいきたいと思っております。そして、村民がこぞって自分達の村であることを認識しその意識を高めてもらう為にも記念事業はぜひ実現させたいと思っております。

質問 いづれに致しまして、

きびしい財政下の中鋭意努力をしていただき豊丘村発展と村民全員の福祉向上を旨とする予算編成を期待するものである。



総務

街路灯稲作に被害発生



一貫道路に設置した、街路灯の光線により発生した稲作減収に対する損害賠償問題が発生し、賠償金二十万円の補正予算がだされました。

これは、伴野十・林四・田村三・河野十の合計二十七本の被害が発生したものであります。

設置当初のメーカーの事前説明では、二メートル位の範囲に多少の影響が考えられるが稲作減収への影響は特に問題はない。との説明に従い特段の対策を取らないまま工事を施工したものです。

ところが、天候の影響もあつたのか本年は稲作への影響が街路灯より七メートルの範囲にわたって顕著に現れ損害が発生したものです。

当初の説明では、予期しない損害なので全額村の負担で補償するとの報告でしたが、メーカーの製造者責任を明確にして根本的な対応が必要だとの指摘でメーカーとも折衝するなかで、賠償金の半額の十万円と、被害が発生した二七本の街路灯に、景観を損なわない後方遮光フードを開発し設置することで今後の損害の発生を防止する。

これに要する経費の一切をメーカーが負担し設置されることとなりました。

総務委員長 下平豊久

社 会 補正予算の審議から 「介護のしおや」さん補助七百五十万円

◎十二月補正予算の目玉は宅老所、総事業費一〇〇〇万円、内県補助五〇〇万円、村補助二五〇万円残りは設置者の喬木村の「介護のしおや」さん負担。

介護保険の利用できる日帰りデイサービスで、四月から利用できる施設になります。

◎保育所費 現在未満児保育は中央と南保育所で行っています。が、働くお母さんが多くなり、中央が現在二十名を二五人に増員するため百六十三万を追加、これ以上増員できないために南保育所を利用して頂き、将来北保育所での未満児保育の検討をしなければならぬ状況になって来ています。やるとなれば施設改修が必要。

◎国民健康保険の医療給付二千万円追加、老人医療給付費五千六百万円追加、介護保険のサービス給付費が、林の杜入所者二十名と特養入所者二五名の予算が三二名となり、居宅介護二千万円増の十一で二千五百万円追加、高齢化社会の負担が増加して来ています。

◎伴野工場団地の下水道工事が着工されています。小園一貫道丸昌入口から東を小木曾建設、西側工場団地内を神稲建設、名鉄運送裏迄吉川建設が請負い、工事費は一億一千万円、処理場までの圧送は来年度以降です。

◎「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する申請及び、WTO・FTA交渉に関する申請については、主旨がもう少し調査研究する費用があるの継続審査としました。

◎太陽光発電システム設置費への補助金交付について

環境保全やエネルギーの安定供給の確保を図るべく、太陽光発電システムの設置費に補助金を交付する制度については、平成十二年四月より施行され十七年三月までの期限措置でしたが、(財)新エネルギー財団の助成が継続されることとなったので、当村の補助金の上のせ交付もこれに合わせて継続することとしました。

経済建設委員長 唐澤啓六



経済 建設 食料・農業対策の 請願・陳情あいつぐ

◎政府米の買い入れと、備蓄を充実させる意見書提出を求める陳情について―採択―

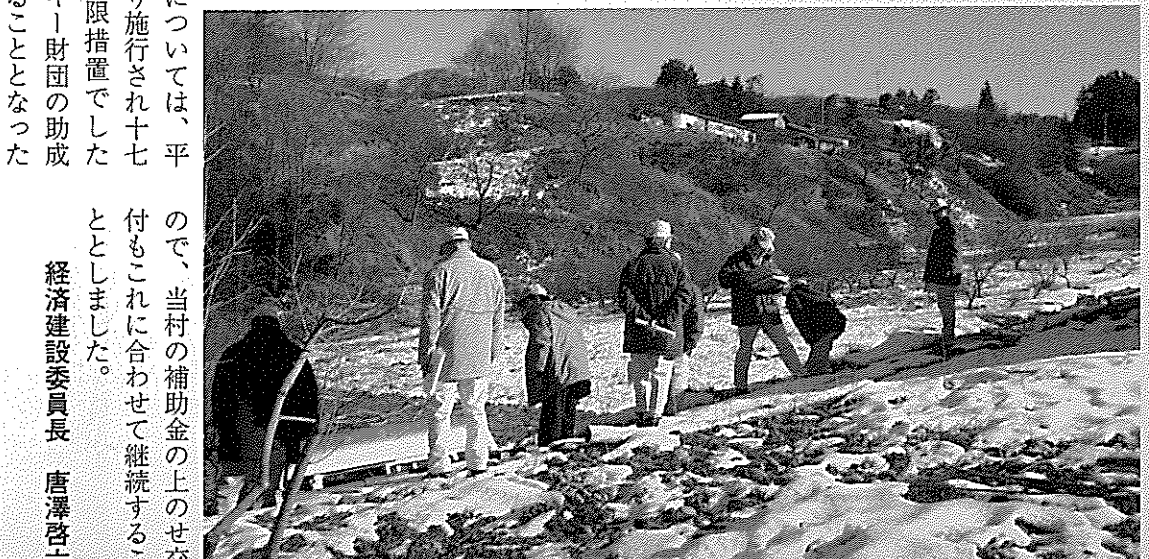
本陳情は九月の第三回定例会で提出され、当委員会が継続審査となっていたものです。陳情の主旨は、米価が暴落しているがその原因は政府米の買い入れが目標に対し極めて少なく、逆に必要以上の古米を放出し続けていることにあるとして、政府に対し米の需給と価格の安定に責任を果すよう求めるものであります。

◎「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する申請及び、WTO・FTA交渉に関する申請については、主旨がもう少し調査研究する費用があるの継続審査としました。

◎太陽光発電システム設置費への補助金交付について

環境保全やエネルギーの安定供給の確保を図るべく、太陽光発電システムの設置費に補助金を交付する制度については、平成十二年四月より施行され十七年三月までの期限措置でしたが、(財)新エネルギー財団の助成が継続されることとなったので、当村の補助金の上のせ交付もこれに合わせて継続することとしました。

経済建設委員長 唐澤啓六



シリーズ「私、がんばっています」

今回は、伴野の古瀬で「はた織り」を長年続けられている織田大原延子さんを紹介する。

織田大原延子さんは現在七十才。御主人、次男との三人家族。長男は県外で暮らしている

近年、地球の至る所で大きな災害が起っている。自分達の所でもいつ災害が起っても不思議ではない状況になっている。自然破壊をする人間への警告だろうか。なんとなく住みにくい世の中になつてきている。

今、地球は、長野県は、豊丘は

私の一言

し、自分達の住む地域を自分達の子供が住みついてくれなくてはならない。「昔からこうだった。そうだったことはいままでになか

た。」などという言葉で片づけられては、次世代を継ぐ若者達は「何を言ってもムダ。」と思ひ、「こんな土地にいるのはイヤ。」と都会又は、他市町村へと出ていってしまふ。この村を良くするも悪くするのも、私達そして年配の方々の考え次第だと思ふ。私は以前から、「年寄りの言う事はきくもんだ。」と教えられてきた。が、確かに古いしきたりや伝統は、次世代に伝えていくことは大事だと思ふ。けれどそれにこだわりすぎては村の発展はない。若い世代の意見を否定することなく聞き検討をしていくことも必要だと思ふ。今何が一番大切なのかを考えて住み易い村づくりをしていただければ、とてもうれしく思ひます。

米等の農業に従事するかたわら、三十年程前より自宅で「はた織り」の仕事がされている。「私たちの若い頃はどこの家でも木綿ばたを織り家族の着る物は自分たちで織っていたもんだに。」と言ふ。

現在飯田市松尾にある「ひろせ」と言う店から依頼され主に紬を織っている。このお店には最盛期には百人位の織り子がい

たが今は五、六人になつてしまつてゐる。自分で織つた着物を着て皆さんで旅行をした事もあると、なつかしうに話された。取材に伺つた朝も、はた織りの音が、からん、とんとんとリズムよく聞こえてきた。織田大原さんが現在織つている紬は、たて糸が絹糸、横糸は真綿を使用するとの事。ところどころ真綿の微妙なおうとつが織り上つた時にいい味わいを出すと言ふ。

反物の色は横糸の色で決る。織つている最中ときどきたて糸がきれたりする。お邪魔している時もたて糸が一本切れてしまい、どこが切れたのか見つけ出し細かい糸をつなぐ作業は目も良くなければ出

来ないし指先もしなやかでない出来なないなあと見とれてしまった。きれいな色の反物が織り上ると、つい欲しくなつてしまひ、今まで何枚かの着物に仕立てた物を見せて頂いた。美しい色あいとシャキツとした着やすさも手に伝つてきた。「ひ」という横糸を通す道具を右から通した時は右足をふむ。左から通した時は左足をふむと言つた作業を見るにつけ、全身に神経を使い根気よく反物を織り上げていく延子さんの姿に、これからも元気で織り続けてほしいなと感した。

「ボケ防止にもなるし、少しの時間でもはた織り機の前に座るのが何よりの楽しみ」と話された。



編集後記

▲二〇〇五年のスタートは一面の銀世界から始つた。昨年は本

当に「災」の一年であつたと思ふ。自然災害も猛威をふるつたが人間の心も尊厳が傷つけられきしきしと悲鳴をあげているように思えた。今更ながら「食」の大切さを認識する。先人たちが土地を耕やし米、野菜を汗して作り主婦はその食材を旬をのがさず調理し、食卓に手づくりの家庭料理がのつたものだ。近年、大人も子どもも精神的不安定、切れやすいと言つた社会現象の中、相手を思いやる心も段々欠如しその根源に「食」の役割りが改めて見直されてきてゐる。豊丘村でも食育推進ボランティアの取り組みが始つており根気よく長い時間をかけての取り組みが求められている。

▲合併問題も白紙状態の中、当面堅実的な地に足のついた生き残りをかけた自立の取り組みをしていかななくてはならない。村内十二会場で行なわれる村政こん談会に足を運んで、活発な意見交換をしてもらいたい。本年もよろしくお願い申し上げます。